



2024年6月18日

各 位

会 社 名 株式会社サカイ引越センター
代 表 者 名 代表取締役社長 田島 哲康
(コード番号：9039 東証プライム)
問 合 せ 先 専務取締役 山野 幹夫
(TEL. 072-244-1174)

(訂正・数値データ訂正)「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正に関するお知らせ

当社は、2024年5月8日 14時20分に開示いたしました「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」提出後の精査において、連結キャッシュ・フロー計算書上の各科目間の一部に集計誤りが判明したこと及びセグメント情報において集計に一部誤りがあることが判明したため訂正を行うものです。

訂正内容は以下となります。

① 連結キャッシュ・フロー計算書

- 当期末払金の増加額のうち財務活動とすべきものが営業活動に含まれていたことによる訂正
- 有形固定資産の増加と車両割賦購入分(期末未払金計上分)が両建てになっていたことによる訂正
- リース債務の返済による支出額の中に一部キャッシュの支出を伴わないものが含まれていたことによる訂正
- 有形固定資産の売却収入の中に一部キャッシュの流入を伴わないものが含まれていたことによる訂正

② セグメント情報

- セグメント資産の合計額の誤りによる訂正
- 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の誤りによる訂正

2. 訂正箇所

・サマリー情報

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（3）連結キャッシュ・フローの状況

・添付資料

1. 経営成績等の概況

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

3. 連結財務諸表及び主な注記

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等）

3. 訂正内容（訂正箇所には下線を付しております）

・サマリー情報

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（3）連結キャッシュ・フローの状況

（訂正前）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	<u>9,840</u>	<u>△7,850</u>	<u>△569</u>	27,732
2023年3月期	10,179	△4,624	△2,787	25,573

（訂正後）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	<u>9,581</u>	<u>△6,881</u>	<u>△1,279</u>	27,732
2023年3月期	10,179	△4,624	△2,787	25,573

1. 経営成績等の概況

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

（訂正前）

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,158百万円増加し27,732百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動による資金は、9,840百万円の増加（前年同期の資金は10,179百万円の増加）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益12,777百万円に対し、法人税等の支払額4,522百万円などの資金減少要因がありましたが、減価償却費1,445百万円などの資金増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動による資金は、7,850百万円の減少（前年同期の資金は4,624百万円の減少）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出4,894百万円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動による資金は、569百万円の減少（前年同期の資金は2,787百万円の減少）となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出1,182百万円、配当金の支払額1,931百万円などがあったことによるものであります。

(訂正後)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,158百万円増加し27,732百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動による資金は、9,581百万円の増加（前年同期の資金は10,179百万円の増加）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益12,777百万円に対し、法人税等の支払額4,522百万円などの資金減少要因がありましたが、減価償却費1,445百万円などの資金増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動による資金は、6,881百万円の減少（前年同期の資金は4,624百万円の減少）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出3,778百万円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動による資金は、1,279百万円の減少（前年同期の資金は2,787百万円の減少）となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出1,182百万円、配当金の支払額1,931百万円などがあったことによるものであります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,092	12,777
減価償却費	1,318	1,445
減損損失	—	133
のれん償却額	34	34
持分法による投資損益 (△は益)	16	82
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	3
受取利息及び受取配当金	△22	△28
支払利息	24	16
有形固定資産処分損益 (△は益)	△12	△45
関係会社株式評価損	—	39
売上債権の増減額 (△は増加)	275	△2,621
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△114	△152
仕入債務の増減額 (△は減少)	280	1,436
未払賞与の増減額 (△は減少)	443	104
その他	△151	1,112
小計	14,204	14,345
利息及び配当金の受取額	30	33
利息の支払額	△24	△16
法人税等の支払額	△4,030	△4,522
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,179	9,840
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△435	△1,620
定期預金の払戻による収入	456	694
有形固定資産の取得による支出	△2,753	△4,894
有形固定資産の売却による収入	29	145
無形固定資産の取得による支出	△58	△88
投資有価証券の取得による支出	△206	△2,106
投資有価証券の払戻による収入	—	118
貸付けによる支出	△506	△439
貸付金の回収による収入	279	418
関係会社株式の取得による支出	△1,477	—
その他	48	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,624	△7,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,137	1,500
短期借入金の返済による支出	△2,567	—
長期借入れによる収入	1,316	878
長期借入金の返済による支出	△1,430	△1,182
リース債務の返済による支出	△391	△525
設備関係割賦債務の返済による支出	—	769
社債の償還による支出	△22	△78
配当金の支払額	△1,829	△1,931
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,787	△569
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,767	1,420
現金及び現金同等物の期首残高	22,806	25,573
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	737
現金及び現金同等物の期末残高	25,573	27,732

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,092	12,777
減価償却費	1,318	1,445
減損損失	—	133
のれん償却額	34	34
持分法による投資損益 (△は益)	16	82
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	3
受取利息及び受取配当金	△22	△28
支払利息	24	16
有形固定資産処分損益 (△は益)	△12	△45
関係会社株式評価損	—	39
売上債権の増減額 (△は増加)	275	△2,621
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△114	△152
仕入債務の増減額 (△は減少)	280	1,436
未払賞与の増減額 (△は減少)	443	104
その他	△151	853
小計	14,204	14,086
利息及び配当金の受取額	30	33
利息の支払額	△24	△16
法人税等の支払額	△4,030	△4,522
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,179	9,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△435	△1,620
定期預金の払戻による収入	456	694
有形固定資産の取得による支出	△2,753	△3,778
有形固定資産の売却による収入	29	5
無形固定資産の取得による支出	△58	△96
投資有価証券の取得による支出	△206	△2,106
投資有価証券の払戻による収入	—	118
貸付けによる支出	△506	△439
貸付金の回収による収入	279	418
関係会社株式の取得による支出	△1,477	—
その他	48	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,624	△6,881
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,137	1,500
短期借入金の返済による支出	△2,567	—
長期借入れによる収入	1,316	878
長期借入金の返済による支出	△1,430	△1,182
リース債務の返済による支出	△391	△394
設備関係割賦債務の返済による支出	—	△70
社債の償還による支出	△22	△78
配当金の支払額	△1,829	△1,931
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,787	△1,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,767	1,420
現金及び現金同等物の期首残高	22,806	25,573
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	737
現金及び現金同等物の期末残高	25,573	27,732

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(訂正前)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務 諸表計上額 (注) 4
	引越事業	電気工事 事業	クリーン サービス 事業	リユース 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上 高	100,123	4,599	5,263	6,213	116,199	662	116,861	—	116,861
セグメント間の内 部 売上高又は振替高	126	3,421	56	45	3,649	86	3,735	△3,735	—
計	100,249	8,021	5,319	6,258	119,848	748	120,597	△3,735	116,861
セグメント利益	11,335	662	495	21	12,515	502	13,018	△114	12,904
セグメント資産	67,266	4,141	6,071	4,926	82,406	9,552	91,958	28,852	120,811
その他の項目									
減価償却費	1,277	18	17	55	1,368	77	1,445	—	1,445
受取利息	8	0	0	0	8	—	8	—	8
支払利息	13	—	0	0	15	0	16	—	16
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	4,559	0	38	434	5,032	75	5,108	58	5,166

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△114百万円はセグメント間取引消去等であります。

3. セグメント資産の調整額には、各事業セグメントに配分していない全社資産が含まれております。

4. セグメント利益の合計は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 58百万円は、主として全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の取得額であります。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務 諸表計上額 (注) 4
	引越事業	電気工事 事業	クリーン サービス 事業	リユース 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上 高	100,123	4,599	5,263	6,213	116,199	662	116,861	—	116,861
セグメント間の内 部 売上高又は振替高	126	3,421	56	45	3,649	86	3,735	△3,735	—
計	100,249	8,021	5,319	6,258	119,848	748	120,597	△3,735	116,861
セグメント利益	11,335	662	495	21	12,515	502	13,018	△114	12,904
セグメント資産	66,502	4,141	6,192	4,926	81,762	9,552	91,315	29,496	120,811
その他の項目									
減価償却費	1,277	18	17	55	1,368	77	1,445	—	1,445
受取利息	8	0	0	0	8	—	8	—	8
支払利息	13	—	0	0	15	0	16	—	16
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	4,549	0	38	434	5,022	75	5,098	57	5,155

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△114百万円はセグメント間取引消去等であります。

3. セグメント資産の調整額には、各事業セグメントに配分していない全社資産、セグメント間の債権債務消去が含まれております。

4. セグメント利益の合計は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 57百万円は、主として全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の取得額であります。

以上